

町と（一財）桑折町振興公社は今年、献上桃30周年を記念し、ふるさと納税特別返礼品「雅」を企画しました。

従来より町では、さまざまな品種の桃を返礼品として取り扱ってきましたが、「雅」は、共選場に出荷された採れたての桃の中から、透過式光センサー選果機を通じた糖度13・5度以上に限定。さらに、農協職員が目利きし「糖度・色・かたち」の三拍子揃えた桃に厳選しています。吟味を重ね



限定100箱 献上桃30周年記念 ふるさと納税特別返礼品「雅」

みやび

選ばれた桃は、一つ一つ手作業で和紙でくるみ、桐箱へ詰められ、その日のうちに発送されます。

「雅」は、寄附額5万円（1箱6個入り）で、4月から各ふるさと納税ポータルサイトにて受付を開始し、8月上旬には、定数100箱に到達。寄附者からは「本当においしい」「こんな桃は今まで食べたことがない」などの声が寄せられました。町では、次年度以降も、町産の高品質な桃の魅力を全国へお届けし、町の農業のさらなる活性化につながるよう、特別な返礼品を継続する予定です。



町産桃、首相官邸や福島県庁へお届け

7月24日、高橋町長とJAふくしま未来の数又代表理事組合長らが首相官邸を訪れ、岸田文雄首相に町産桃を手渡しました。岸田首相は「豊かさを感じる味。福島の良さを世界にアピールしてほしい」と期待を寄せました。また、7月25日には、高橋町長は福島県庁を訪れ、鈴木正晃副知事と面会。朝採れの桃をお届けしました。鈴木副知事は「農業の人材育成など、産地維持のために県も協力していく」と話しました。

voice 総務課 ふるさと納税担当 鴨田智早

ふるさと納税を通じて「献上桃の郷」のブランド力が、より一層強くなっていると感じました。ふるさと納税の寄附金は、桃の産地維持のためのさまざまな施策に充てています。生産者の皆さんが、震災による風評被害や自然災害などを乗り越えつくりあげてきた桃を、桑折の宝物として守り続けていくために、好循環となる取り組みを今後も実施していきます。



サンドウィッチマンのテレビ番組収録

tbc東北放送をキー局に8局ネットで放映されている「サンドのぼんやり〜ぬTV」の夏休み特別企画「サンドをおもてなしツアー in伊達市&桑折町」の番組収録が6月25日、町内で行われました。当日は、サンドウィッチマンの二人が桃畑やレガールこおり、旧伊達郡役所などを訪れ、採れたての桃や桃ピザを食べたり、町発祥の日本最古の自転車「三元車」のレプリカを見たりしながら桑折町を満喫しました。この番組は、7月29日、8月5日に宮城県で放映されました（福島県では秋ごろ放映予定）。



大盛況！ 町の桃直売所

町内にある直売所「だてかべじふル」JA桑折共選場は、今年も大盛況。SNSや口コミ、各種PR事業の効果もあり、全国各地から訪れる人が年々増加しています。



voice 諏訪さん家族(埼玉・千葉)

とてもおいしい桃が手ごろな価格で買える直売所が桑折町にあるということを知り、ずっと前から気になっていました。コロナの影響でなかなか行く機会がありませんでしたが、今年やっと念願の桃を買うことができました。福島県産の桃は食べたことがあります。桑折町産の桃は初めてなので、みんなで食べるのが楽しみです！



卸売市場でトップセールス

町産桃のさらなるブランド化を推進するため、高橋町長や各農協組合長らによるトップセールスが7月、いわき市中央卸売市場および石巻青果花き地方卸売市場、東京都大田市場で行われました。町産桃の出荷先である各市場で、卸売・仲卸業者のもとを訪れ、これまでの御礼や新たな価値創出に向けた取り組みなどをPRし、さらなる連携強化を図りました。

